



## 23 キリンの鳴き声

2013. 6 執筆

キリンのことに多く受ける質問のNO. 1は「キリンはどうやって寝るのですか？」です。と、③のお話でも書きましたが、その次に多いのは今回のタイトルである「キリンはどのように鳴くのですか？」です。

動物園でも〇〇の鳴き声はどんな声ですか？といった質問が時々ありますが、このように鳴きますと口で伝えるのはどんな動物でも難しいものです。キリンの場合、私は「ヒトに聞こえる声で鳴くときはウシに似た声で鳴きます。そしてヒトに聞こえない声でも鳴いていると言われていました。」と答えます。

今まで私が関わってきたキリンは6頭。その中で鳴くのを聞いたことがないのはキヨミズとオトワとシウンです。ただし、シウンが鳴いたのは観察している学生さんが確認しています。

私が初めてキリンの鳴き声を聞いたのはミライがまだ第一子のリュウオウを産む前のことだったと思います。その時はそれがキリンの鳴き方だと気付いてはいませんでした。が……。その時の声を文字に表すとしたら「ブーブー」でしょうか。短い音で数回聞きました。でも、それを鳴き声と言っていいのかわかりません。私には単なる「音」にしか聞こえませんでした。鼻を鳴らす音みたいな感じです。それは、ミライがキヨミズに嫌がらせをしていた時に聞きました。何度も嫌がらせをされていたミライは怒りが声になったのだと思います。それは同じシチュエーションで別の日にも聞いたことがあります。

あとはコドモたちの鳴き声です。4頭のコドモたちの中でいとも簡単に鳴いたのは4番目の子、ウリュウです。生後間もない頃にグラウンドと室内間を移動する時、お母さんが見えなくなってすぐに鳴きました。お客様の前で何度も鳴きました。コドモの鳴き声を初めて聞いたのは1番目の子、リュウオウです。リュウオウもお母さんが見えなくなったときに鳴きました。その声はキリンタイムズで「汽笛のよう」と書いたとおりで、私には「ポー——ッ」っと聞こえました。よく、キリンの鳴き声はウシに近いと書いてありますが私にはウシには聞こえませんでした。その時、まともにキリンが鳴く声を初めて聞いたのでとても感動しましたが、そのうち何度も鳴くので何とも思わなくなってしまう……。よく鳴くのがわかったのでビデオを用意し、撮影も出来ました。

そしてもうひとつの「ヒトには聞こえない声」です。実はキリンは私たちヒトには聞こえない低い周波数の範囲で鳴くと言われています。もしかしたら本当はとってもおしゃべりだったりして!?

キリンが低周波の音域で鳴いてコミュニケーションをとっているというのを初めて知ったのはテレビのある番組でした。残念ながら当時の私はキリンを担当する前でしたので単に「へ～」と思っただけでした。その時はまさか自分がキリンの担当者になるとは思っていなかったのです・・・。

低周波でコミュニケーションをとっている動物で知られているのはゾウです。そして、ゾウのそれに関しての研究もいくつか行われています。キリンはまだまだです。

私がみなさんにお伝えすることで、「～と言われています。」ということではできるだけ本当なのか確かめて「～と言われていますが、ここにいるキリンたちは～です。」と事実を伝えられればいいなと思っています。

そんな時、チャンスがやってきました。テレビの取材中のことでした。シウンの出産の時のことなのですが、事前にいろいろと打ち合わせをしている中でこの低周波の鳴き声の話をしたところ、とても興味をもっていただき、世界で2台しかないという「音カメラ」で当園のキリンたちを調査してもらえることになったのです！

私はキリンの授乳行動を観察し続けていて気になっていた授乳OKのサインが、この低周波の鳴き声で出している時があるのでは？という仮説を「音カメラ」で検証してほしいと思っていたのです。私の仮説が当たっていたら本当に嬉しいのですが・・・。

その「音カメラ」、映像の中に音が発生したところにまあい模様写ります。その模様の大きさや色によって音の大きさや周波数が分かるといった優れものです。形にならない「音」を形にでき、目で確かめることができるのです！数日あったテレビ撮影の日のうち、専門家の方が機材を持って来てくれました。1日掛かりで撮影し、低周波でべちゃくちゃ会話していることを想像しながら見守っていました。

結果は……鳴いたであろうと思われるシーンが1回。たったそれだけでした。おしゃべりではなかったのです。しかも、授乳のシーンではありましたが、OKサインの時ではありませんでした。

しかしおもしろい経験でした。調査をした専門家によると、低周波が出る物理的な構造の条件の中には「かなりの大きさ」が必要らしいです。なので、コドモのキリンは聞くことはできても発することはできないのでは？とのこと。残念な結果でしたが、調査

してくださった方が最後に言ってくださった「このキリンファミリーは仲良しですね！」という一言がとても嬉しかったことを覚えています。

とても興味深かったこの撮影、「音カメラ」はここでは終わらせません！たった1日の調査ですべては語れない！絶対にリベンジしたい！と思っています。

まだまだわかっていないことが多いキリンのこと。その中のひとつが「鳴き声」です。これからいろいろなことがわかっていって、私たちには「寡黙」に見えるキリンたちは本当に寡黙なのか、それともおしゃべりなのか、はたまた他のコミュニケーション方法をとっているのが解明されていくことを楽しみにしています。



お母さんと離れるとよく鳴いた（泣いた!?)  
甘えっ子のリュウオウ。

(2007年8月撮影)



これが音を映像でとらえることのできる「音カメラ」だ！！

(2011年4月撮影)



追記：2014年1月と6月に合計4日間、(株)熊谷組様のご協力により「音カメラ」による音声コミュニケーション調査を行いました。結果はこれからまとめますが、動物園で行った調査でわかったことは「キリンは寡黙な動物である。」と言ったところでしょうか……。